【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公開番号】特開2011-103822(P2011-103822A)
【公開日】平成23年6月2日(2011.6.2)
【年通号数】公開・登録公報2011-022
【出願番号】特願2009-263320(P2009-263320)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ　2/66　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　2/52　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/17　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/198　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/40　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/60　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/65　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/44　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/73　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ　2/00　Ｊ
Ａ２３Ｌ　2/00　Ｆ
Ａ６１Ｋ　37/12
Ａ６１Ｋ　31/198
Ａ６１Ｋ　47/40
Ａ６１Ｋ　35/60
Ａ６１Ｋ　9/08
Ａ６１Ｋ　8/65
Ａ６１Ｋ　8/44
Ａ６１Ｋ　8/73
Ａ６１Ｑ　19/00
Ａ６１Ｑ　19/08

【手続補正書】
【提出日】平成25年2月21日(2013.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
成分（ａ）～（ｃ）を含むコラーゲンペプチド含有飲料。
（ａ）平均分子量１２００以下のコラーゲンペプチド　２５％（ｗ／ｖ）以上；
（ｂ）ヨーグルト、シュガー、ライチ、マンゴー、パイナップル、ラズベリー、ブルーベリー、クランベリー、及びペアーからなるフレーバー群より選択される少なくとも１種；及び
（ｃ）αシクロデキストリン

【請求項２】
更に、プロリン、リジン、及びオルニチンからなるアミノ酸群より選択される少なくとも１種を含む、請求項１に記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
【請求項３】
成分（ａ）が魚由来のコラーゲンペプチドを用いる、請求項１又は２に記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
【請求項４】
室温における液粘度が１０～３５ｍＰａ・ｓの範囲であり、４℃における液粘度が２０～５０ｍＰａ・ｓの範囲である、請求項１～３のいずれか１項に記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
【請求項５】
成分（ｂ）がヨーグルト及びライチからなるフレーバー群より選択される少なくとも１種である、請求項１～４のいずれか１項に記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明は以下の通りである。
＜１＞
成分（ａ）～（ｃ）を含むコラーゲンペプチド含有飲料。
（ａ）平均分子量１２００以下のコラーゲンペプチド　２５％（ｗ／ｖ）以上；
（ｂ）ヨーグルト、シュガー、ライチ、マンゴー、パイナップル、ラズベリー、ブルーベリー、クランベリー、及びペアーからなるフレーバー群より選択される少なくとも１種；及び
（ｃ）αシクロデキストリン
＜２＞
更に、プロリン、リジン、及びオルニチンからなるアミノ酸群より選択される少なくとも１種を含む、＜１＞に記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
＜３＞
成分（ａ）が魚由来のコラーゲンペプチドを用いる、＜１＞又は＜２＞に記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
＜４＞
室温における液粘度が１０～３５ｍＰａ・ｓの範囲であり、４℃における液粘度が２０～５０ｍＰａ・ｓの範囲である、＜１＞～＜３＞のいずれか１項に記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
＜５＞
成分（ｂ）がヨーグルト及びライチからなるフレーバー群より選択される少なくとも１種である、＜１＞～＜４＞のいずれか１項に記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
本発明は、上記＜１＞～＜５＞に係る発明であるが、以下、それ以外の事項（例えば、下記［１］～［４］）についても記載している。
［１］平均分子量１２００以下のコラーゲンペプチドを２５％（ｗ／ｖ）以上含有してなり、室温における液粘度が１０～３５ｍＰａ・ｓの範囲に、また４℃における液粘度が２０～５０ｍＰａ・ｓの範囲に含まれるとともに、ヨーグルト、シュガー、ライチ、ピーチ、マンゴー、パイナップル、ラズベリー、ブルーベリー、クランベリー、ペアーのうちいずれかのフレーバーを少なくとも含有することを特徴とするコラーゲンペプチド含有飲料。
［２］更にプロリン、リジン、オルニチンのいずれか１種又は２種以上を含有することを特徴とする、［１］記載のコラーゲンペプチド含有飲料。

［３］更にαシクロデキストリンを含有することを特徴とする、［１］又は［２］記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
［４］魚由来のコラーゲンペプチドを用いることを特徴とする、［１］～［３］のいずれかに記載のコラーゲンペプチド含有飲料。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
以下に本発明の実施例を示すが、本発明は以下に示す実施例に何ら限定されることは無い。なお、特に断り無い限り、「％」は質量基準である。
以降、実施例１～２１は、それぞれ、参考例１～２１に読み替えるものとする。以降の各表においても同様である。